

基礎研究強化に向けた長期方策検討ワーキンググループ における審議経過について 概要

基本認識

世界トップクラスの科学技術を創出・発展させ、わが国の国際競争力を高めるため、その土台となる基礎研究の強化に国を挙げて取り組む。

今後の方向性

1. 若手研究者が「早期」から「独立」して研究に取り組むことができるように環境を整備

- ① 国が優れた若手研究者を募集・採用し、大学や研究機関がこの者を任期付きの研究者として受け入れ、独立して研究を遂行後に安定的なポストに移行していくシステムを検討。
- ② 評価に応じた給与制度や高齢教員の非常勤化を進め、給与費全体の合理化を図ることにより若手研究者のポストを確保。

2. 「層の厚い」研究教育拠点を形成

- ① わが国の基礎研究をリードする研究教育拠点の裾野を拡大し、各拠点が研究内容や地域性において特色を発揮。
- ② 世界トップレベル研究拠点の形成を強化。

3. 基盤的経費と競争的資金のバランスをとった「研究資金の拡充」

- ① 研究者が長期間、安定して研究を行うことができるよう、科学研究費補助金を拡充し、研究期間の長期化と採択率の向上。
- ② 独立した研究者が必要な研究費を確保できるよう、研究者の各ステージを踏まえ、科学研究費補助金制度のグランドデザインを検討。